

目標の進捗状況報告書

(2013年度・大学)

担当部局は ☆印の箇所を記入してください。

I. 評価項目・要素と担当部局

本シートでの自己点検・評価を行う部局と項目・要素は次のとおりである。

対象部局	社会学部
大項目	6 教育内容・方法・成果
中項目	6.2 教育課程・教育内容
小項目	6.2.1 教育課程の編成・実施方針に基づき、授業科目を適切に開設し、教育課程を体系的に編成しているか。
要素	必要な授業科目の開設状況 順次性のある授業科目の体系的配置 専門教育・教養教育の位置づけ (学部) コースワークとリサーチワークのバランス (院)
小項目	6.2.2 教育課程の編成・実施方針に基づき、各課程に相応しい教育内容を提供しているか。
要素	学士課程教育に相応しい教育内容の提供 (学部) 初年次教育・高大連携に配慮した教育内容 (学部) 専門分野の高度化に対応した教育内容の提供 (院) 理論と実務との架橋を図る教育内容の提供 (専院)

II. 目標の進捗状況評価と進捗状況報告(2013.4.30現在の進捗状況報告)

《進捗状況評価》

本項目において、2009年度～2013年度の中期的な「目標」と「指標」を次のとおり設定し、毎年度進捗状況の自己評価を行っている。進捗状況評価はA、B、C、Dの4段階とし、2013年4月30日現在における目標の達成度評価(2013年度の達成に対してどこまで進んだかの評価)を行った。A、B、C、D評価は目安として次のようなものである。

- A : 目標実現のための計画や方策などを適切に実行し、目標を達成している。もしくはほぼ達成している。
 B : 目標実現のための計画や方策などを概ね適切に実行しているが、まだ目標は達成していない。
 C : 目標実現のための計画や方策などを実行しているが十分ではなく、目標は達成していない。達成にはまだしばらく時間がかかる。
 D : 目標実現のための計画や方策などを実行していない。当然目標は達成していない。

2009年度に設定した「目標」	左記目標の「指標」	進捗状況評価				
		2009	2010	2011	2012	2013
1. 4年間の演習教育の各段階で求められる到達目標を明確化する	→ 4年間の演習教育の各段階で求められる到達目標への学生の到達度	B	B	A	A	/
2. 講義科目(3系7領域科目)の順次性・段階性を明確化する	→ 講義科目(3系7領域科目)の順次性・段階性の明示と、学生の履修状況	B	B	B	B	/
3. 初年次教育(基礎演習、社会学リレー講義)の成果を検証し、必要な改善を行う	→ スタディスキルの修得と、学部教育への展望の獲得についての教員の評価および学生の評価(授業評価)、具体的改善内容	B	B	B	B	/

☆

2010年度以降に設定した「目標」	左記目標の「指標」	2009	2010	2011	2012	2013
	→	/	/	/	/	/
	→	/	/	/	/	/

《進捗状況》 ☆

目標の進捗状況について次のとおり簡単に説明する。

目標1	「演習教育の各段階で求められる到達目標についての指針」を定めており、これに基づいて各演習科目のシラバスが作成されている。
目標2	講義科目(3系7領域科目)の順次性・段階性の明示については、社会調査関連の科目および社会心理学関連の科目で部分的に実現している。抜本的には、2012年度にスタートした将来構想委員会で構想されているカリキュラム改編のなかで、開講科目のナンバー制の導入や初年次教育の充実などが答申され、教授会で承認された。
目標3	「基礎演習」については、全担当者から成る「基礎演習編成会議」(月一回開催)において教育効果を検討し、(教育内容および教育方法についての)必要な改善を行っている。「社会学リレー講義」については、コンビーナー(2名)を中心に、学部長室委員会および教授会において教育効果を検討し、教育方法や教育効果測定の方法などについて、必要な改善を行っている。
備考	